

Point

1

画面構成とプロジェクトタイプ

TREND-POINT の画面構成と、起動時に選択するプロジェクトタイプについてご説明します。
プロジェクトタイプは途中で変更ができないため、起動時に、作業に適切なタイプを選択しましょう。

1-1 画面構成

TREND-POINT の画面構成と機能を確認しましょう。

タブとリボンを切り替え、3D ビューでデータの入力や編集、確認をおこないます。

また、各設定は [TREND-POINT] ボタンより、「アプリケーションの設定」でおこなうことができます。

◆TREND-POINT ボタン

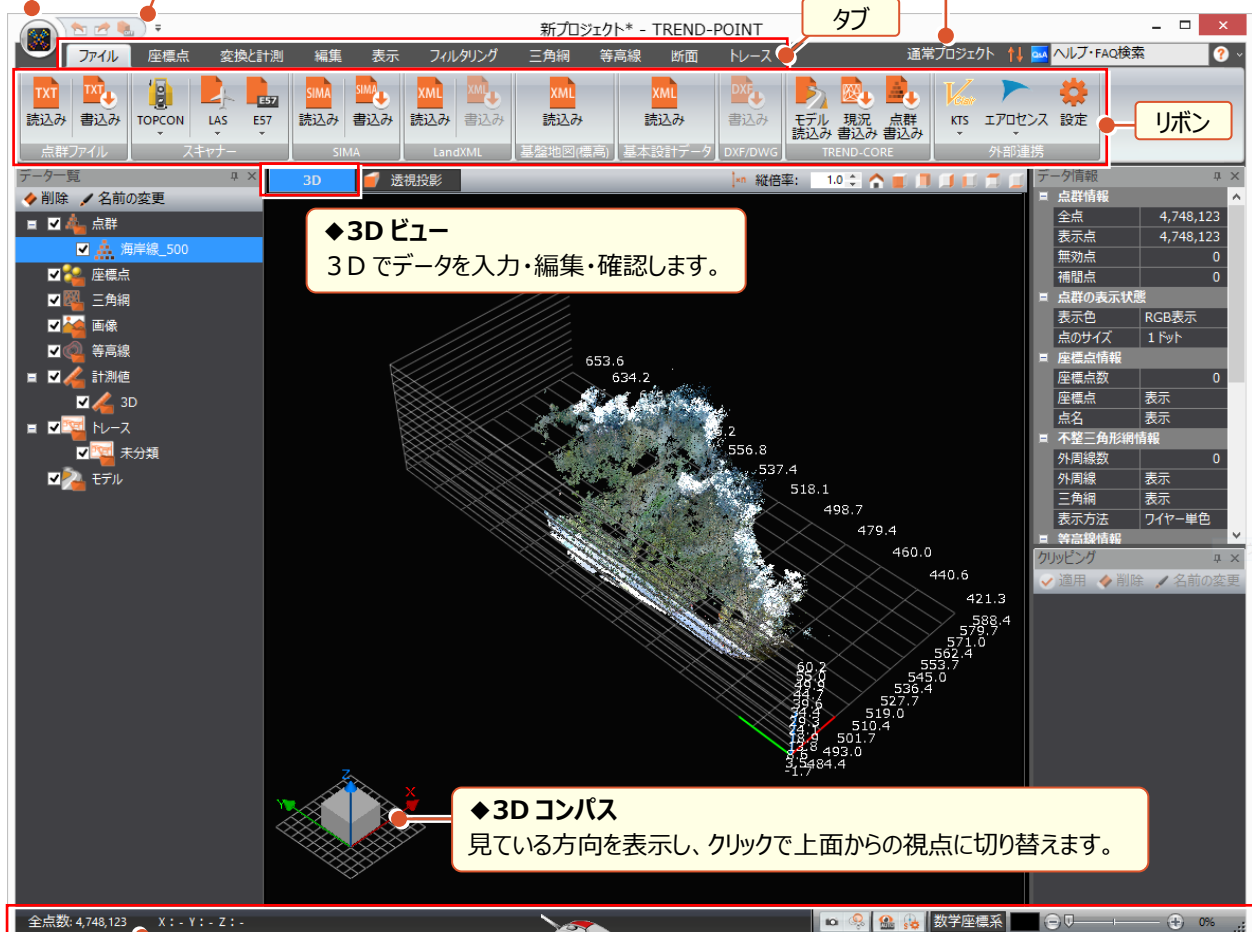
プロジェクトを作成する、開く、保存などの基本操作がまとめられています。

◆クイックアクセスツールバー

使用中のコマンドに関係なく、クリックするだけでそのコマンドを実行でき、[▼] でカスタマイズすることができます。

◆プロジェクトタイプ

現在開かれているプロジェクトのタイプ（通常プロジェクト/比較プロジェクト/出来形プロジェクト）を表示します。



◆3D ビュー

3D でデータを入力・編集・確認します。

◆3D コンパス

見ている方向を表示し、クリックで上面からの視点に切り替えます。

◆ステータスバー

全点数表示、画面キャプチャの起動、背景色の設定などをおこなうことができます。背景色は、カラーボタンをクリックして変更、明るさは、スライダーを右に移動し調節します。



また、右クリックの [ポップアップメニュー] から、表示・非表示の切り替えが可能です。

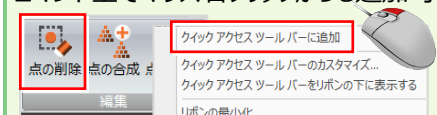
ステータスバーの構成

- 全点数
- X: - Y: - Z: -
- コマンド起動
- 座標系の設定
- 背景色の設定

Memo

■クイックアクセスツールバーについて

コマンド上でマウス右クリックからも追加可能。



1-2 プロジェクトタイプについて

『点群同士を比較したいけど、メニューが出てこない…。比較プロジェクトだとできるって言われたけど、変更できるの？』
一度作成したプロジェクトを変更することはできません。点群データを書き込んでから、新規に比較プロジェクトを選択し読み込むことになります。そのため、作業の開始時には、用途に応じて適切なプロジェクトを選択しましょう。

◆既存のプロジェクト

保存した TREND-POINT のデータを開く場合に選択します。

◆通常プロジェクト

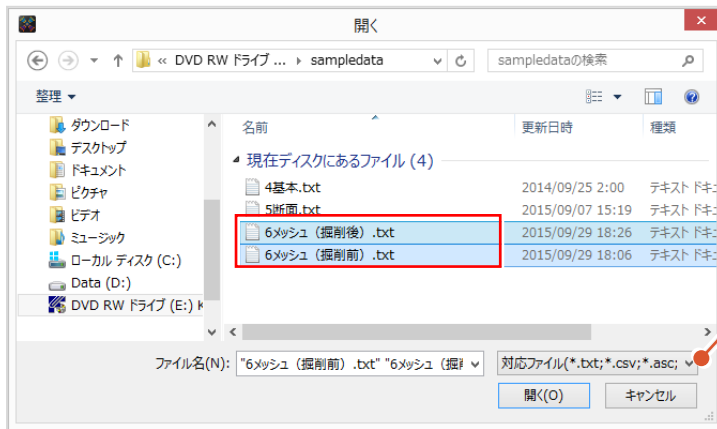
複数のデータをまとめて扱うプロジェクトタイプです。複数のデータを扱えますが、比較/出来形プロジェクトの様にデータを比較することはできません。保存したファイルの拡張子は「XPT」になります。

◆比較プロジェクト

複数のデータを個別に扱い、比較できるプロジェクトタイプです。複数のデータを読み込み後、基準面と比較面に設定した2つのデータを比較します。保存したファイルの拡張子は、出来形プロジェクトと同様に「XPTC」になります。

◆出来形プロジェクト

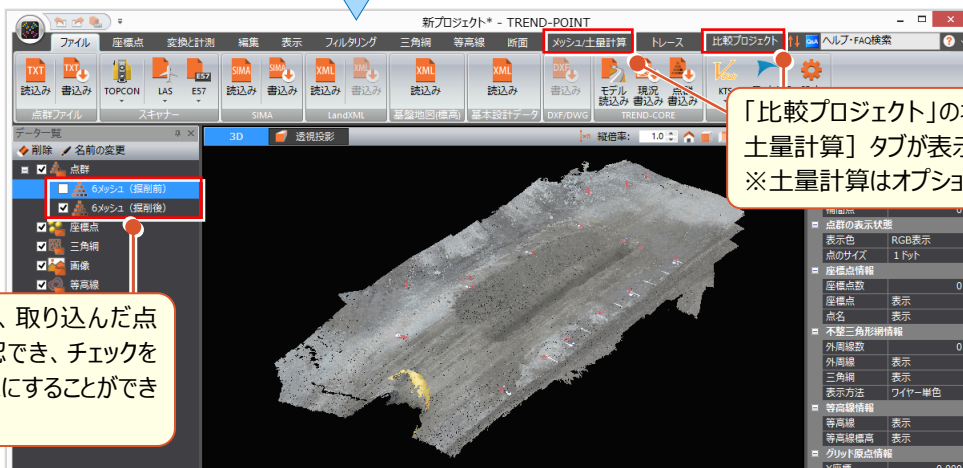
出来形管理を行う場合に使用する比較プロジェクトタイプで、オプションになります。



◆対応ファイル

「対応ファイル」を選択することで、拡張子毎に変更する手間を軽減。また、ctrl キーや shift キーを利用して、複数の点群データを読み込むことができます。

```
対応ファイル(*.txt;*.csv;*.asc;*.xyz)
テキストファイル(*.txt;*.csv)
点群ファイル(*.asc;*.xyz)
すべてのファイル(*)
```



データ一覧では、取り込んだ点群ファイルが確認でき、チェックをオフにし、非表示にすることができます。